

柏原をワインで元気にした

高井利洋さんの「農のカタチ」



農業者セミナー

「農のカタチ」カフェ

2015.2.21 sat 14:00-16:00

場所 | 路地カフェ (大阪府大阪市中央区内久宝寺町2丁目7-31) 参加費 | 無料
主催 | 大阪市 協力 | JA大阪市 企画・運営 | 特定非営利活動法人Co.to.hana

農業者セミナー「農のカタチ」カフェとは —

生産者の高齢化や後継者不足、経営状況の悪化など、農業をとりまく状況は年々と厳しくなっています。しかし一方で、オリジナリティあふれる方法でこれらの課題に向き合い、農業の新しいカタチを実践している方も多くいらっしゃいます。「農業者セミナー」は、そんな新しい「農のカタチ」を実践するトップランナーからその活動についてお伺いし、それをヒントに大阪市内農業のこれからについて考える場です。現在農業を営まれている方も、これから始めようとしている方も一緒になって、大阪の未来を切り拓く新しい「農のカタチ」について話し合しましょう。

講演 | 柏原をワインで元気にした高井利洋さんの「農のカタチ」

高井さんは、代々のワイン作りを受け継ぎながらも、独創的なアイデアの商品開発や、地域の協力者を巻き込んだ新しい農業経営の形など、様々な取り組みを行われています。

柏原はもともと、ブドウの一大生産地でしたが、高齢化や耕作放棄地の問題、ブドウの市場価格の下落などによって活気を失っていました。100年を超える歴史をもつカタシモワイナリーを受け継いだ高井さんは、その状況を変えるべく、空いている農地を積極的に利用したり、ブドウの畑の管理に様々な地域の協力者を巻き込む、新しい農業経営を実践してきました。

そして、積み重ねてきたアイデアは、カタシモワイナリーのワインを、いまや大阪を代表するワインにまで成長させました。そんな高井さんの活動のお話しを通して、農業が大阪を元気にできる可能性について学び、参加者の皆さんとこれからの大阪市内農業について語り合います。



カタシモワインフーズ 社長 高井 利洋 (たかい・としひろ)

1951年、大阪府柏原市に生まれる。1974年、近畿大学理工学部卒業。大阪で初めてワイン用ブドウで大阪府エコ農産物栽培ほ場に認定され、日本で始めてグラッパを製造する等、革新的な事業に積極的に取り組む。「地域に寄り添い地域と共に歩むワイナリー」を目指して活動し、様々な賞を受賞。大阪府の「食の安全安心」にも認定され、2012年には大阪ワイナリー協会会長に就任。130年続くブドウ畑を次の100年に繋げる為、積極的に活動中。



お申し込み

住所、氏名、電話番号、メールアドレスを明記の上、ハガキ、FAXまたはメールでお申込みください。

アクセス

路地カフェ
大阪市中央区内久宝寺町2丁目7-31

締め切り 2015年2月16日(月)必着(FAX、メールの場合は18:00必着)

定員 約40名(参加者多数の場合は、先着順となります)

対象 以下のいずれかの条件にあてはまる方

- ・大阪市内農業者
- ・今後、大阪市内で農業を営むことを考えている方

お問い合わせ 特定非営利活動法人Co.to.hana

Mail | info@cotohana.jp Tel / Fax | 06-6654-8830
559-0011 大阪市住之江区北加賀屋2-10-21



地下鉄谷町線「谷町四丁目駅」7番出口より谷町筋を南へ徒歩5分
地下鉄谷町線「谷町六丁目駅」6番出口より谷町筋を北へ徒歩5分

ふりがな 氏名	男・女	歳
住所		
電話番号	メール	

ご提供いただいた個人情報は、本事業以外の目的では一切使用いたしません。